

## 東京・山梨地区会定期総会・研修会を終えて



NHO 甲府病院

春 原 悟

平成 29 年 7 月 22 日（土）、国立国際医療研究センター病院で東京・山梨地区会（第 4 回定期総会、研修会）が開催されました。

まず、定期総会では平成 28 年度の事業報告、平成 29 年度の案、議題等について審議され、無事に承認されました。28 年度理事の皆様お疲れ様でした。

続いて、研修会では国立国際医療研究センター病院の永井技師長から「検査部門における国際医療協力」というタイトルでご講演をしていただきました。世界の医療事情、日本からの協力体制、と初めて触れる内容ばかりでした。

国と連携し、医療展開推進事業として、我が国の医療政策や医療に特化したメンバーを諸外国（10 数か国ほど）へ派遣し、先端医療の技術移転や、公的医療保険制度に関する知見や経験の移転などを推進していく活動。また、日本に諸外国からの研修生を受け入れるという活動について詳細にご教示いただきました。そして、4 か国の研修先（ベトナム、ラオス、ガーナ、キューバ）での状況をたくさんの写真を使ってお話していただきました。国によって診療を受けるシステムが独特であること。富裕層が国境を越えて他国の質の高い病院へ受診していること。医師の割合が都心部で少なく、その周辺部で多いというアンバランスの問題を抱える国。検査技師を含む医療技術職の研修制度が乏しい国など、日本とは医療事情が全く違うということを学びました。

諸外国との協力体制については、先輩技師が後輩技師に伝達するのと同じで、規模の大きい「教育」と私は捉えました。医療に関して自施設のみならず、いずれは世界にも目を向けていかなければ、と強く感じさせられました。

最後になりましたが今回、総会・研修会の開催に携わった関係者皆様に心から御礼申し上げます。

